

2012年9月27日

～「愛犬とのお散歩意識調査」～

愛犬とのお散歩は、危険がいっぱい！？ 約4割の飼い主がトラブルの経験あり！

T & D保険グループのペット&ファミリー少額短期保険株式会社(東京都文京区、代表取締役社長：日下部 明)は、20～70代の愛犬家の男女955人を対象に、『愛犬とのお散歩意識調査』(インターネット調査)を実施しました。

日差しの強い夏が過ぎ愛犬とのお散歩が心地よくなる季節、『愛犬と散歩をしている中で、トラブルや嫌な思いをした経験はありますか?』と質問をしたところ、約4割(39.7%)の方が「経験がある」と答えており、散歩時のトラブル発生率が比較的高いことが分かりました。

また、トラブル経験者の方を対象にその内容を集計した結果、「犬同士のトラブル」が最も多く約5割(55.9%)、続いて「犬を飼っていない人とのトラブル」約3割(30.6%)、「飼い主同士のトラブル」約2割(19.8%)と様々な問題が。更にトラブルの詳しい状況を質問したところ、「ノーリードで遊んでいた犬が自分の犬に急に飛びかかってきたが、飼い主は笑って見ていた」や「散歩中に会うおじいさんが餌付けしようとする。勝手に人間が食べるお菓子を与えたりするのは本当に困る」「大型犬2匹を散歩させている飼い主が制御しきれずに、うちの犬に近づいてくることが多くて怖い。散歩仲間みんなが迷惑しているので、一人で散歩するのをやめて欲しい」など犬自身というより、飼い主や飼い主以外の方がマナーやルールを守らずに行動していることがトラブル発生の原因であることがうかがえます。

愛犬とのお散歩は、飼い主にとって幸せを感じられる瞬間のひとつだと思います。飼っている方同士はもちろん、ご近所の方や犬を飼っていない方のことなど、相手を思いやる気持ちをしっかりと持ちながら、愛犬との素敵な散歩の時間を過ごしていけるようにしましょう。

調査概要

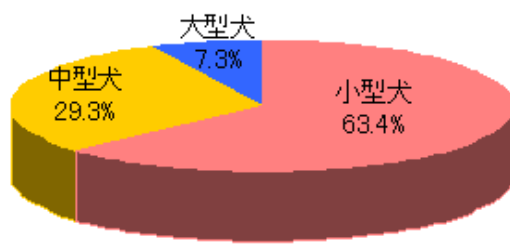
調査対象 : 全国の20～70代の男女 (犬を飼っている方)

有効回答数 : 955サンプル (男性・654サンプル、女性・301サンプル)

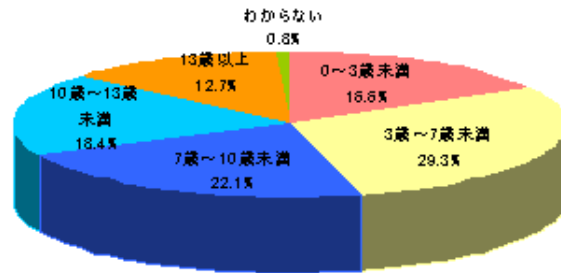
調査方法 : インターネットリサーチ

調査期間 : 2012年9月14日(金)～2012年9月16日(日)

調査結果概要



飼っているペットの種類



飼っているペットの年齢

愛犬は散歩をするのは好きですか？

回答結果	飼っているペットの種類			全体平均
	小型犬	中型犬	大型犬	
好き	58.0%	55.0%	62.9%	57.5%
普通	29.9%	37.9%	24.3%	31.8%
嫌い	9.4%	6.1%	10.0%	8.5%
わからない	2.6%	1.1%	2.9%	2.2%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

全体の約6割（57.5%）が「好き」と回答。犬種や年齢などによって違いが出る可能性はありますが、やはり犬は散歩が大好きということが分かります。特に大型犬がアクティブなことがうかがえます。

愛犬と散歩をしている中で、トラブルや嫌な思いをした経験はありますか？

回答結果	飼っているペットの種類			全体平均
	小型犬	中型犬	大型犬	
経験がある	37.0%	42.1%	52.9%	39.7%
経験がない	63.0%	57.9%	47.1%	60.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

約4割（39.7%）の飼い主が「経験がある」と回答しており、散歩時におけるトラブルの発生率が比較的高いという結果に。大型犬の場合、2人に1人（52.9%）以上はトラブルを経験しています。

散歩時に経験したトラブルや嫌な思いは、どれに該当しますか？（複数回答）

回答結果	飼っているペットの種類			全体平均
	小型犬	中型犬	大型犬	
犬同士のトラブル	53.6%	61.9%	51.4%	55.9%
飼い主同士のトラブル	20.5%	16.9%	24.3%	19.8%
犬を飼っていない人とのトラブル	29.9%	30.5%	35.1%	30.6%
公園など施設とのトラブル	8.9%	3.4%	16.2%	7.9%
ケガや事故	12.1%	13.6%	24.3%	13.7%
その他	9.8%	9.3%	8.1%	9.5%

「犬同士のトラブル」（55.9%）、「犬を飼っていない人とのトラブル」（30.6%）に意見が集中。

「ケガや事故」（13.7%）になっている場合もあるなど、様々な問題が発生していることが分かります。

どんなトラブルや嫌な思いをしたのか、詳しく教えてください。(フリーアンサー)

- ノーリードで遊んでいた犬が自分の犬に急に飛びかかってきたが、飼い主は笑って見ている。
- 散歩中に会うおじいさんが餌付けしようとする。勝手に人間が食べるお菓子を与えたりするのは本当に困る。
- 大型犬2匹を散歩させている飼い主が制御できずに、うちの犬に近づいてくることが多くて怖い。散歩仲間みんなが迷惑しているので、一人で散歩するのをやめて欲しい。
- 近所の方の犬と我が家の犬が散歩中に喧嘩になり、危険と思い愛犬を抱き上げた瞬間、相手の犬が私の腕に噛み付いてきて8針縫うケガを負いました。
- 家の犬はメスなので座ったような状態でおしっこをするのですが、ウンチをしていると勘違いをして近所の人に怒られたことが何度かあります。
- 細い道を散歩中にバイクの音にびくびくして愛犬がパニックに。リードをしていたが急に走りだしてバイクとぶつかってしまいケガをしました。
- 犬嫌いな人が道路に餌つきのガビョウをまいている。間違えて食べたりしたらと思うと…。
- 大型犬は歩いてるだけで怖がられたり、犬の入る施設でも他の犬に迷惑だからと断られることがある。
- 犬のフンを片付けずに立ち去ろうとした人に注意したら、その場で口論になった。
- 実家の畑の付近を犬と散歩していたら、猪に襲われ怪我をさせられた。

トラブルや嫌なことが発生した後、愛犬との散歩に何か変化はありましたか？

回答結果	飼っているペットの種類			全体平均
	小型犬	中型犬	大型犬	
散歩のコースや場所を変えた	31.3%	28.1%	30.6%	30.2%
散歩をする時間を変えた	10.6%	9.6%	8.3%	10.1%
一緒に散歩をする仲間を変えた	0.9%	0.9%	2.8%	1.1%
散歩の回数を減らした	2.8%	1.8%	2.8%	2.5%
その他	7.4%	5.3%	5.6%	6.5%
特別な変化はない	47.0%	54.4%	50.0%	49.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

「散歩のコースや場所を変えた」(30.2%)、「散歩をする時間を変えた」(10.1%)などの意見があるものの、「特別な変化はない」(49.6%)と回答している方が最も多い。飼い主にとって散歩は日常の行動になっているため、トラブルが起こっても対処しづらい傾向が見受けられます。

愛犬と散歩をすることで、良かったことは何かありますか？(複数回答)

回答結果	飼っているペットの種類			全体平均
	小型犬	中型犬	大型犬	
友達が増えた	43.3%	20.7%	32.9%	35.9%
健康的になった	39.8%	51.1%	72.9%	45.5%
行動的になった	12.7%	11.4%	8.6%	12.0%
毎日が楽しくなった	19.2%	16.4%	27.1%	19.0%
その他	4.3%	3.6%	4.3%	4.1%
特別なことはない	17.0%	30.7%	24.3%	21.6%

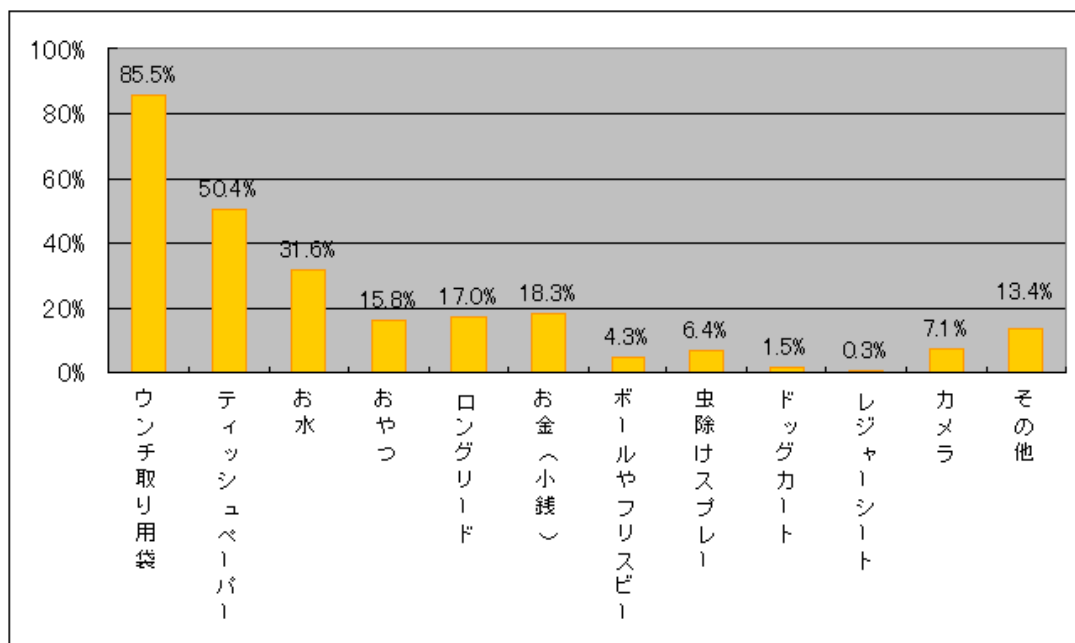
「健康的になった」(45.5%)、「友達が増えた」(35.9%)など、愛犬との散歩に喜びを感じている飼い主が多いことがうかがえます。また大型犬の場合、7割以上(72.9%)の方が健康的になったと回答。他の犬種に比べて散歩の時間が長いことが、効果を発揮していると考えられます。

雨の日の愛犬との散歩はどうされていますか？

回答結果	飼っているペットの種類			全体平均
	小型犬	中型犬	大型犬	
いつも通り散歩に行く	10.2%	24.6%	27.1%	22.0%
いつもより短めに散歩に行く	22.0%	40.4%	37.1%	28.5%
散歩に行かない	66.0%	32.9%	31.4%	47.4%
わからない	1.8%	2.1%	4.3%	2.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

約5割（47.4%）の飼い主が「散歩に行かない」と回答。特に小型犬の飼い主は他の犬種に比べて散歩に行かない傾向が強いことが分かります。小型犬は室内で飼われることが多く、雨の日の散歩の後は濡れた体を乾かすことや、シャンプー等のケアを行うことに時間を取られることが影響していると考えられます。

愛犬との散歩時に、リード（首輪）以外に持っていくものは何ですか？（複数回答）



リードと同じように愛犬との散歩時のマナーとして当然と考えられている「ウンチ取り用袋」（85.5%）が一番多い回答。続いて「ティッシュペーパー」（50.4%）、「お水」（31.6%）という結果に。

愛犬との散歩は、飼い主にとって幸せを感じられる瞬間のひとつだと思います。

飼っている方同士はもちろん、ご近所の方や犬を飼っていない方のことなど、相手を思いやる気持ちをしっかりと持ちながら、愛犬との素敵な散歩の時間を過ごしていけるようにしましょう。